

# 12

## ヤブガラシ類の防除事例（その2）

南部農業改良普及センター展示ほ

- 1 課題名 さとうきび春植植付前の天地返し及びグリホサートカリウム塩液剤の多回散布によるヤブガラシ類の抑制効果の実証
- 2 目的 農業研究センターを中心に、さとうきびほ場でのヤブガラシ類防除技術の開発が進められている。なかでも防除効果が高いとされる、さとうきび植付前のグリホサートカリウム塩液剤の多回散布によるヤブガラシ類発生抑制効果の実証する現地展示ほを設置する。
- 3 実施場所 南城市 N 氏  
及び農家名
- 4 実施内容
  - (1) 実施品目：さとうきび春植（品種：NiF8、畦幅：130cm、畦長：30m）
  - (2) 実施面積：6.6 a
  - (3) 展示ほ概要：平成24年度までにグリホサートカリウム塩液剤（1,000ml/10a）を4回散布した休耕ほ場をパワーショベルで天地返しを行った後、春植を行い、ヒイラギヤブガラシ発生に対する抑制効果を調査した。植付後の初期除草として4月30日、DCMU水和剤（200ml/10a）を散布した。8月中旬、ヒイラギヤブガラシの発生（15～20本/畦）が見られたため、グリホサートカリウム塩液剤（1,000ml/10a）を畦間処理した。10月中旬、ホシアサガオの発生（40～50本/畦）が見られたため、株元から引抜きを行った。



展示ほの全景（平成24年11月22日）



展示ほの全景（平成26年3月4日）

表1 ヤブガラシ類およびその他雑草防除履歴

	平成23年			平成24年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月								
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
グリホサートカリウム塩液剤散布		★				★						★			★

  

	平成25年														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
肥培管理				○	○	○	○	○	○	○	○	○			
グリホサートカリウム塩液剤散布													★		
その他雑草対策				●					●						●
				パワーショベルによる天地返し			DCMU水和剤								人力除草



ヒイラギヤブガラシの発生状況（平成25年4月24日）

## 5 調査結果及び考察 (1) ヒイラギヤブガラシの抑制効果

平成25年12月4日に任意の4畦（畦長：30m）において、雑草等の発生状況を調査したところ、1畦あたり平均値でハマスゲが10本、ムラサキカタバミが2.3本、ホシアサガオが0.5本で、ヒイラギヤブガラシの発生は見られなかった（表2）。いずれの雑草も草丈は低く、収穫に全く影響がない状態であった。

平成26年3月4日、収穫中のほ場で調査を行ったが、ヒイラギヤブガラシの発生は、3～4本（草丈50cm未満）だった。

以上の結果から、さとうきび植付前のグリホサートカリウム塩液剤4回散布とパワーショベルでの天地返し及びグリホサートカリウム塩液剤の畦間処理の組み合わせにより、ヒイラギヤブガラシの発生が確実に抑制されることが確認できた。

地表への太陽光の透過を遮るため、意識的に収穫直前まではく葉を行わなかった点を追記する。

## (2) ヒイラギヤブガラシ防除経費の算定

展示ほにおいてヒイラギヤブガラシ防除に要した経費を算定すると10aあたり約5万円（そのうち薬剤費は9,270円）であった（表3）。初期除草のDCMU水和剤散布は、通常の栽培管理として、当該経費に算入しなかった。植付前の防除に係る薬剤および人件費が13,270円に及ぶものの、株出し回数に応じて年あたり防除経費は少なくなると考えられる。

表2 雑草の発生状況調査 平成25年12月4日(単位:本)

草種名	1畦	2畦	3畦	4畦	平均
ハマスゲ	4	16	20	0	10.0
ムラサキカタバミ	0	3	4	2	2.3
ホシアサガオ	1	0	0	1	0.5

表3 ヤブガラシ防除経費の算定表

費目	金額(円)	備考
グリホートカリウム塩液剤	9,270	散布量1000ml/10a×4回=4000ml 5.5Lサイズ製品価格:12,747円
散布人件費	4,000	1,000円/時間×1時間×4回=4,000円
パワーショベル	36,000	
計	49,270	